

広げよう！ 絵本の世界

14ひきのねずみの家族のお話を知っていますか？

「14ひきのひっこし」「14ひきのピクニック」など

沢山のお話がある「14ひきシリーズ」

草木の一本一本まで丁寧に描かれ、

雑木林の中でかわいいキャラクターたちが

生き生きと暮らす姿が印象的で

作者のいわむらかずおさんが子ども時代を過ごした雑木林の

情景を原点に描いた絵本です。



14ひきの個性

なぜ、14ひきなのかと言えば・・・

子どもは区切り良く10匹。これにお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、の14匹。深い理由はないそうです(笑)

14ひきにはそれぞれ個性があります。

ただの14ひきの集団というだけではなく、“1匹1匹を心の中に存在させよう！”と考えたことから、それぞれの個性が伝わるお話になったそうです。

優しい子でも時には怒るし、元気のいい子でもしょんぼりすることがあるもの…。

時には10匹中、3匹くらいは目的から外れたことをしてもいいじゃない！

一人一人が違う個性を持っていることを家庭でも社会でも大切にし、

それぞれの生き方を自分で見つけていくことを大切にしたい

という思いから、絵本の中ではページの端々に、個性が感じられる様子が描かれています。

発見する・絵を読む

14ひきシリーズは絵が細かく、よく見ると物語の内容とは別に、小さなお話が続いています。

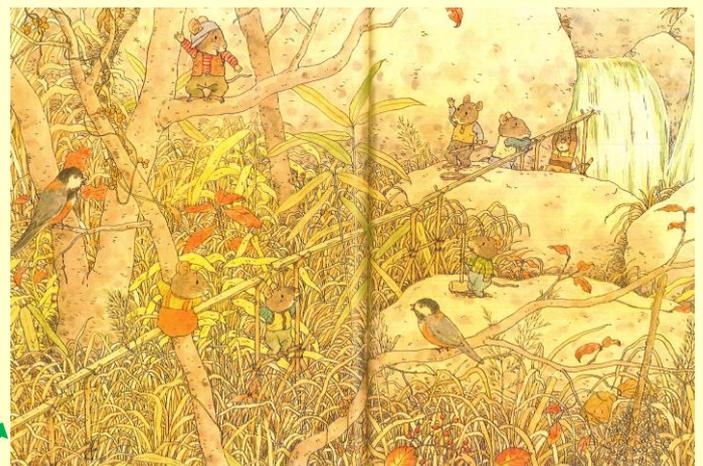
こちらは

「14ひきのひっこし」



お手製の水路が

次のページへとちゃ〜んと続いています



続いて

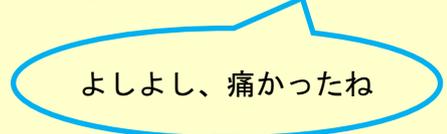
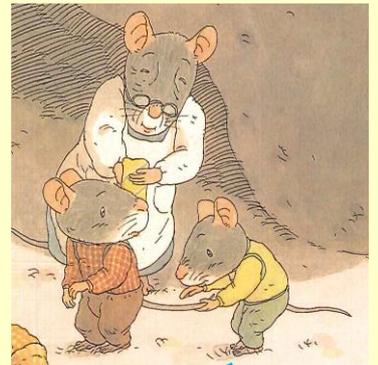
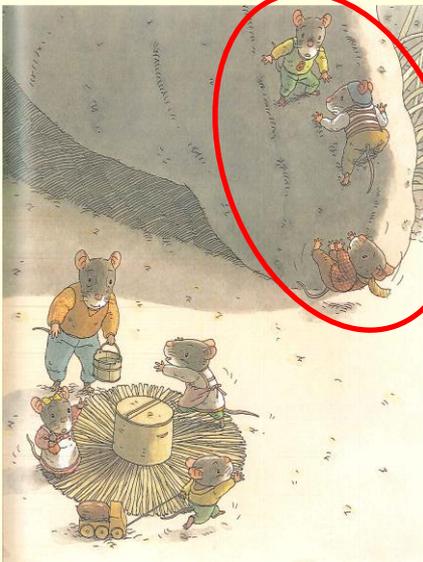
「14ひきのあさごはん」



ろっくんの指に
トゲがささっちゃった！
お話を読み進めていくと…
後半のページでしっかり
お手当してもらっていました

おまけでもう一つ

「14ひきのもちつき」



な～んて会話が聞こえてきそう・・・

14ひきシリーズにはこうした「**見つける楽しみ**」も満載！！

自分の目で発見する楽しさは自然の中を歩くときも同じ…。

自分から働きかけなければ、目の前に豊かな世界が広がっていても、
それを見ることはできないのです。

目で見て、身体で感じ取る「**実体験**」から絵や言葉の世界が生まれます。

いわむら かずおさんの言葉より～

目で見て、身体で感じ取る「実体験」から 絵やことばの世界が生まれる

経験したことと、おはなしが重なった時、
感じたことが絵とつながる、ことばになる

絵本の世界と実体験は同時にあることで
子どもの想像力はより豊かに！ より楽しめる！
ということなのでしょう。

そんな思いから、いわむらさんは、
絵本の世界を楽しむだけでなく、絵本の舞台を歩き、
登場する生き物たちと出会えるような場所を！と
栃木の広大な里山に
農業などの自然体験や読み聞かせも行う
絵本、自然、子どもをテーマにした
「いわむらかずお絵本の丘美術館」の活動も行っています。

これからの季節は、
落ち葉にどんぐり、まつぼっくり等々、秋の自然がいっぱい！
冬になれば、霜がおり、池には氷が張るかな？
一歩外に出ると、発見がいっぱいありそうです！

お休みの日には、家族でおうちの周辺を散策してみてもいいかがですか？

引用：朝日新聞社「いわむらかずお絵本の世界展」